

平成26年度 大洲市職員人事異動

市職員292人が4月1日付で異動

今年度の人事異動は、事務事業の執行体制の見直しと課の再編などを行い、職場の活性化を図るため長期勤務（おおむね4年以上）となる職員は、可能な限り異動を実施しました。また、女性職員の積極的登用を図り、適材適所の人事配置に努めました。

大洲市の職員数は、723人（一部事務組合などへの派遣を除く）となり、昨年度と比較して16人の減員、合併直後の平成17年4月1日の職員数880人と比較して157人の減員となります。

職員数については、引き続き行政改革の推進による組織体制、人員体制の見直し、再任用制度の運用により、合理的かつ効果的な職員数の適正管理に努めます。

人事異動の基本方針

1 機構改革について

(1) 政策秘書室を新設

人事秘書課内に「政策秘書室」を新設し、市長の特命事項の処理や、新規施策に関する総合調整など戦略的な政策の推進を図ります。

(2) 事務事業の移管

コミュニティー対策などまちづくり事業や国内・国際交流事業に関する事務を企画財政部から産業経済部に、港湾および港務に関する事務を建設部から産業経済部にそれぞれ移管します。

(3) 課の再編、所管換え、名称変更

▽商工観光課 → 観光まちづくり課
(商工部門を商工産業課に移管)

▽産業振興課 → 商工産業課

文化財をはじめ文化的資源を活用した観光とまちづくりを推進するとともに、大洲特産品のブランド化、販路拡大など新たな取り組みを推進します。

▽農林水産課を「農林水産課」と「農山漁村整備課」に分割・再編

6次産業化に向けた生産者育成、林業活性化など新たな課題への推進体制を強化します。

▽長浜支所港湾水産課を農林水産課に統合

▽長浜支所地域振興課内に「港湾水産係」を設置
港務所の管理、港の維持管理は引き続き長浜支所で対応します。

▽生涯学習課を「生涯学習課」と「文化スポーツ課」に分割・再編

効率的な業務執行と両課の連携により社会教育・文化・スポーツ推進体制の強化を図ります。

2 事務事業推進のための人事配置について

▽女性職員の積極的登用を行い、肱川支所地域振興課に女性課長を配置します。

▽愛媛県との人事交流を引き続き行い、農林水産課に「農商工連携推進担当」として県職員1人を受け入れ、県経済労働部へ職員1人を派遣します。

▽情報の収集、発信のため、引き続き愛媛県東京事務所に職員1人を派遣します。

▽平成26年度より再任用制度を運用することとし、定年退職職員2人を再任用します。

3 異動総数

▽異動総数 292人 (昨年度 289人)

▽異動率 40.0% (昨年度 38.7%)



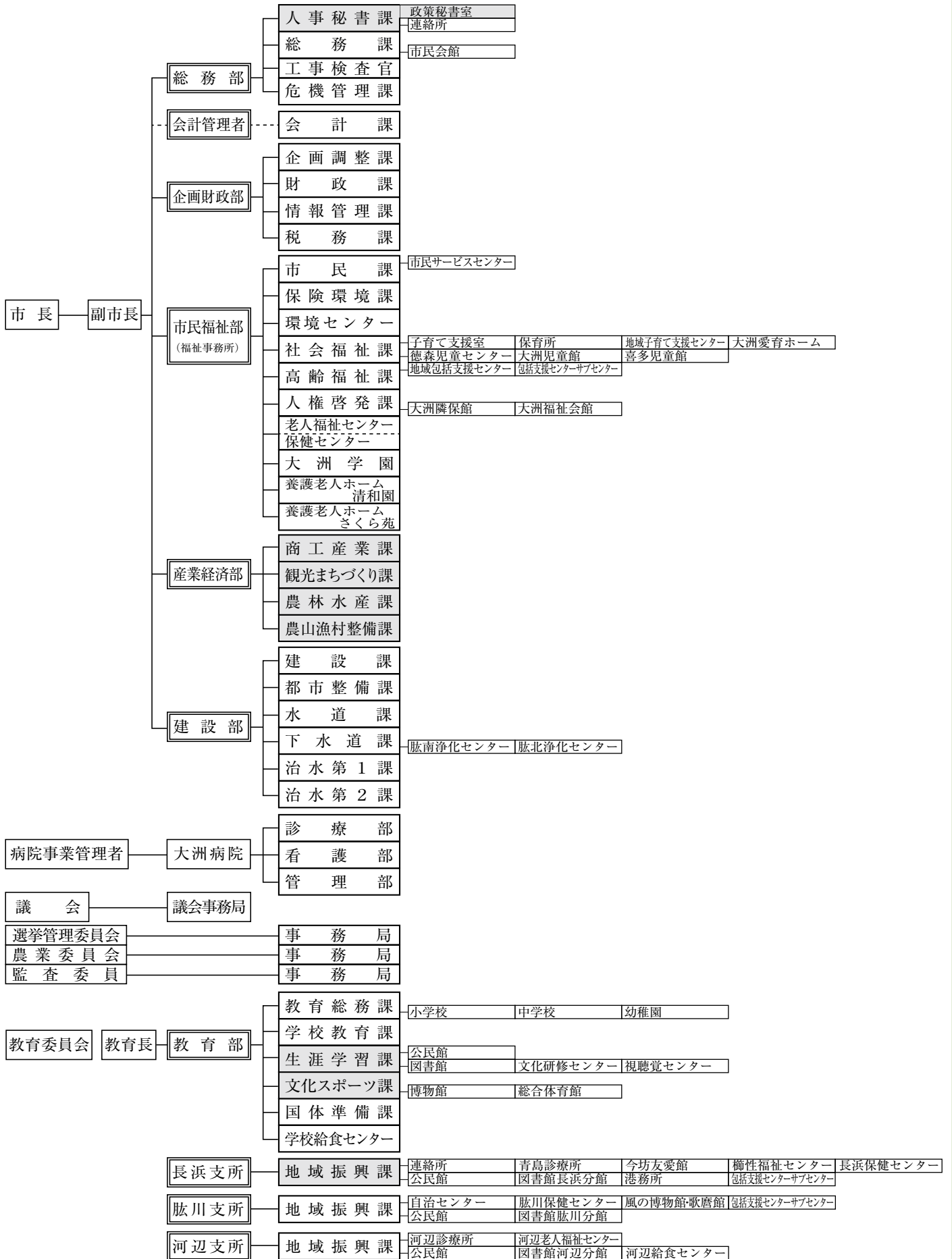
新規採用 (21人)

橋本 (作業療法士)	菊池 (社会福祉士)	森田 (看護師)	二宮 (看護師)	藏本 (文化スポーツ課)	菊池 (徳森保育所)	水口 (都市整備課)	岡本 (旭北保育所)	中野 (保健センター)	奥田 (臨床検査技師)	大野 (看護師)	佐伯 (看護師)
悠人	葉子	千尋	知香	論	奈月	康崇	由香	裕美子	祥子	智香	亜美
		梶原	原	山内	亀田	山田	久保	栗田	吉川	山鬼	
		(看護師)	かほり	(都市整備課)	昌宏	(企画調整課)	智裕	昌志	(建設課)	匡希	直子
			(高年齢福祉課)	(一徳)	(治水第1課)	(拓)	(税務課)	(建設課)	(作業療法士)	(看護師)	

※氏名は、写真の並び順

大洲市行政組織・機構図

平成26年4月1日現在



大洲神伝流が全国13番目の日本泳法として認定

大洲神伝流が、江戸時代からの「流儀」と「形」を保存していることが2月23日に認められ、日本泳法13番目の流派として日本水泳連盟から認定されました。

日本泳法とは、日本古来の泳ぎに基づく泳ぎ方で、流派発祥の水域にあった泳ぎとして発達しました。日本水泳連盟では、貴重な泳法の伝承、普及を図っています。

大洲市指定無形文化財、愛媛県指定無形文化財にそれぞれ指定されている大洲神伝流は、1617年米子藩から大洲藩の藩主となった加藤貞泰の従兄弟にあたる重臣加藤主馬光尚により肱川で創始された泳法で、約400年の歴史があります。

今回の認定にあたり、大洲神伝流保存会今井要会長は「多くの会員が流派認定に向け、地道な歴史研究を行い、日本泳法研究会などで研究発表を行ってきた。その努力が報われ、今回の認定につながった。現在30人の継承者がいるが、今後後継者の育成が課題となっている。これからも、伝統を受け継ぎ、普及発展に努めていきたい」と述べられました。



片手抜き泳法



武者業

なお、従来の神伝流と区別するため、「大洲神伝流」から「主馬神伝流」に名称を変更します。

消費生活侵害事犯等の被害拡大防止に向けた連携に関する協定締結式

3月13日(木)、「消費生活侵害事犯等の被害拡大防止に向けた連携に関する協定書」の締結式が、大洲警察署で行われました。

全国的に元本保証や高配当をうたい、出資金を募る詐欺的な利殖商法や公的機関をかたった振り込み詐欺など、特殊詐欺の相談、被害が増加、深刻化しています。さらに、催眠商法や点検商法などの被害も依然として減少していません。

この協定は、自治体と警察が情報を共有し、相互支援を行うことで、その被害の拡大防止を図るものです。



高齢者見守りネットワークに関する協定締結式

2月28日(金)、「大洲市高齢者見守りネットワークに関する協定の締結式」が、愛媛県庁で行われました。

この協定は、近隣住民との付き合いが希薄化し、高齢者の「孤立死」や「孤独死」が社会問題となっている状況を踏まえ、行政と民間事業者、地域の連携により、高齢者を見守るネットワークを構築することを目的としています。

今回、株式会社伊予銀行、株式会社愛媛銀行、愛媛たいき農業協同組合の3事業者と新たに協定を結び、県知事を立会人として、事業者と清水市長が協定書に署名を行いました。



平成25年度 土砂災害防止に関する作品コンクール表彰

国土交通省と愛媛県では、小中学生のみなさんに土砂災害およびその防止についての理解と関心を深めてもらうため、毎年「土砂災害防止に関する作品コンクール」を開催しています。平成25年度のコンクールで、大洲市からは次のみなさんが入賞し、表彰されました。(学年は、作品作成時のものです。)



【小学生・絵画部門】

愛媛県ボランティア協会会長賞

尾崎 ^{ひろと} 大斗さん
(平小学校 5年)



【小学生・絵画部門】

愛媛県砂防協会会長賞

上野 ^{こうき} 皇輝さん
(河辺小学校 3年)



【小学生・絵画部門】

愛媛県知事賞

三好 ^{れつと} 烈斗さん
(平小学校 5年)

高齢者叙勲



廣瀬 ^{まさお} 正男さん
(阿 蔵)
元菅田中学校長

廣瀬さんは、長年にわたり学校教育にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

瑞宝双光章

災害時の物資供給協力等に関する協定締結式

「災害時等における物資の供給協力等に関する協定書」の締結式が3月14日(金)、大洲市役所で開催されました。

大洲市とダイキ株式会社の間で締結された今回の協定により、災害発生時に不足する作業用品や生活用品などを安定的に供給できるようになりました。

また、大洲市内のダイキ店舗駐車場を、災害避難場所として利用するなどの協力連携も可能になります。

大洲市が生活物資の供給に関して協定を締結するのは、平成24年に締結した生活協同組合コープえひめにつき、今回で2例目になります。



シリーズ・大洲市地域づくり表彰

平成25年度「大洲市地域づくり表彰」を受賞されたみなさん（4個人、1団体）を、シリーズでご紹介します。



地域づくりに貢献
笹本 榮一さん
(沖浦)

笹本榮一さんは、沖浦地区の自治会長として、会員相互の福祉の向上および健康増進、生活環境の保全、防災活動などの各分野に積極的に取り組まれ、会員のための地域づくりに貢献されました。

また、区長、区長会長として、行政および各種団体との協議、連携を図りながら、地域の取りまとめや活性化にも尽力されました。

なお、平成25年10月に、病気によりご逝去されています。ご冥福をお祈りいたします。

文化財

柳沢三島神社社叢
大洲市指定天然記念物
三島神社所有



本社叢のある柳沢の三島神社は、越智郡の人がこの地方に移り住んだ際、大三島より勧請し、氏神として祭ったのが始まりとされています。

山裾から社殿のある頂上にいたる約5,000㎡の社叢は、シラカシ、イタジイ、アラカシ、ヤブツバキ、イヌシデを中心に構成されていて、中には目通り周約4m、樹高約25mにもなるムクノキなど、社叢内には年数を経た巨木も見られます。

シイ類やカシ類のほかシラクチヅルやフジなど大きな蔓類が生育する社叢は、市内でも数少ないことから学術上貴重と言えます。

(昭和34年11月3日指定)

野鳥

トビ (鳶)
タカ目 タカ科
全長69cm 翼開長162cm



気温も上がって春本番の頃、上空で「ピーヒョロロロ」と鳴きながら旋回している姿は、田舎の風物詩ともいえる光景です。

標高を問わず至る所で見かけますが、平地の農耕地で多く目にします。トビは猛禽類でも狩りは得意とせず、一般にスカベンジャー（腐食動物）と呼ばれ、生態系の掃除屋の役目をしています。人の生活にも密着していて、野外でお弁当を広げているとトビに狙われることがあります。そのため、「トンビに油揚げをさらわれた」ということわざが生まれたのだと思います。また、トンビの名前は知れ渡っていますが、実際は方言です。

自然界は、次の世代を養っていくように、巧みにつながっています。そんな彼らの生態に触れると感動は尽きません。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

大洲市とJA愛媛たいきが共同で整備した「たいき産直市愛たい菜」では、安全・安心な農産物をみなさんにお届けするだけでなく、食の大切さを普及する活動も行っています。

大洲の食育

「たいき産直市愛たい菜」の取り組み

店頭で仕事をしていると、お客様からおいしい野菜の見分け方や調理方法、栽培方法についての質問を受けることがよくあります。そのたびに思うのは、生産者にとっては「当たり前」の情報も、お客様にとっては「特別」な情報になるということです。

その情報を上手に発信し活用することが、食育や食農教育につながると考えています。

平成17年に食育基本法が施行されて、学校教育の現場に、子どもの食育・食農教育が導入されました。市内の学校から愛たい菜へ、食に関する授業や講演、店舗見学を依頼されることが増えてきていて、食育・食農教育を重要視する傾向の高まりをうかがうことができます。

学校へ出向いて行う授業では、地元で生産されている野菜や果物を教室に持ち込み、実際に触ったり食べたり、匂いをかいだり、時には枝ごと持ち込んで、花や葉の様子を観察しています。そうすることで、子どもたちが五感を使い、楽しみながら学ぶことができます。とともに、感性と可能性を磨き、食への関心を高められるからです。

地元で採れる旬の食材が並ぶ産直市は、子どもたちはもちろん、大人の食育の場にもなり得る可能性にあふれています。

これからも愛たい菜では、食と農、消費者と生産者をつなぐ産直市だからこそできる、食育・食農教育活動を実践していきます。



手軽で簡単なレシピ集 Vol.2

〈ひじきと春キャベツのサラダ〉



作り方

- ① ひじきは水で戻し、ゆでて食べやすい長さに切る。
- ② キャベツは、約3cm長さの千切りにして塩もみする。
- ③ 人参は、約3cm長さの千切り、えのきは半分の長さにしてゆでる。
- ④ カニ風味かまぼこは、食べやすい長さに切り、手でほぐす。
- ⑤ ①～④をボウルに入れ、ドレッシングであえる。

【材料 2人分】

春キャベツ	80g
ひじき(乾)	6g
人参	20g
えのき	1/2袋
カニ風味かまぼこ	20g
ノンオイルドレッシング	大さじ3杯
※手作りドレッシングを紹介します。	

【手作りドレッシング(2人分)】

サラダ油	大さじ2分の1
しょうゆ	小さじ2分の1強
みりん	大さじ2分の1
酢	大さじ1
レモン汁	大さじ2分の1
砂糖	大さじ2分の1
塩・こしょう	少々
すりごま	大さじ2分の1

—栄養ポイント—

ひじきには、鉄分やカルシウム、カリウム、食物繊維が多く含まれています。

これらの栄養素は、骨や歯を丈夫にし、余分な塩分を体外へ排出する効果や、貧血、動脈硬化の予防、便秘の改善にも効果があります。

【情報提供：大洲市保健センター】



3月30日(日)

河辺の春の催し

～第2回河辺ふるさと公園さくら祭り～

昨年から実施している「ふるさと公園さくら祭り」が、ふるさとの宿で開催されました。

当日は、雨のためふるさとの宿での開催となりましたが、大正琴の演奏や春の俳句発表会のほか、シャモ鍋の無料配布、特産品や新商品の販売、呈茶のコーナーなどがあり、春らしい雰囲気の日を過ごすことができました。



3月15日(土)

猫の楽園「青島」と長浜歴史探訪

～青島ツアーが始まります～

長浜町青島は、昨年秋以降インターネットやメディアで「島民15人と猫100匹が住む島」として紹介され、多くの注目を浴びています。

この日、青島ツアーを企画したJR四国の関係者が、実際の行程表により青島を訪問しました。

参加者は、船の到着と同時に集まってくる猫の多さに歓声を上げていました。



4月4日(金)

今に伝える渡し舟

～臥龍の渡し～

肱川如法寺河原にて、「臥龍の渡し」のオープニングセレモニーが行われました。

大洲小学校5年生8人が、実際にうかいで使用される屋形船に乗り込み、春風にあたりながら臥龍山荘を望む遊覧を楽しんでいました。

「臥龍の渡し」は、5月末日まで日曜・祝日に運航します。



3月29日(土)

地域の拠点施設が完成

～^{あせぶ}汗生集会所落成式～

汗生地区住民が心待ちにしていた地区集会所が落成を迎え、関係者31人が出席して落成式が行われました。

神事に続き行われた式典では、地元区長があいさつを行い、その後、市より用地提供者に感謝状が贈られました。

汗生集会所は、平成24年10月の火災により焼失し、平成25年10月から建設していました。